

2011年3月期(第15期) 第3四半期 決算説明会資料

(2010年10月 ~ 2010年12月)

2011年2月4日

日本通信株式会社

- I. はじめに
(代表取締役社長 三田 聖二)
- II. 第3四半期決算の概要
(代表取締役専務 CFO 福田 尚久)
- III. 今後の見通し

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

代表取締役社長

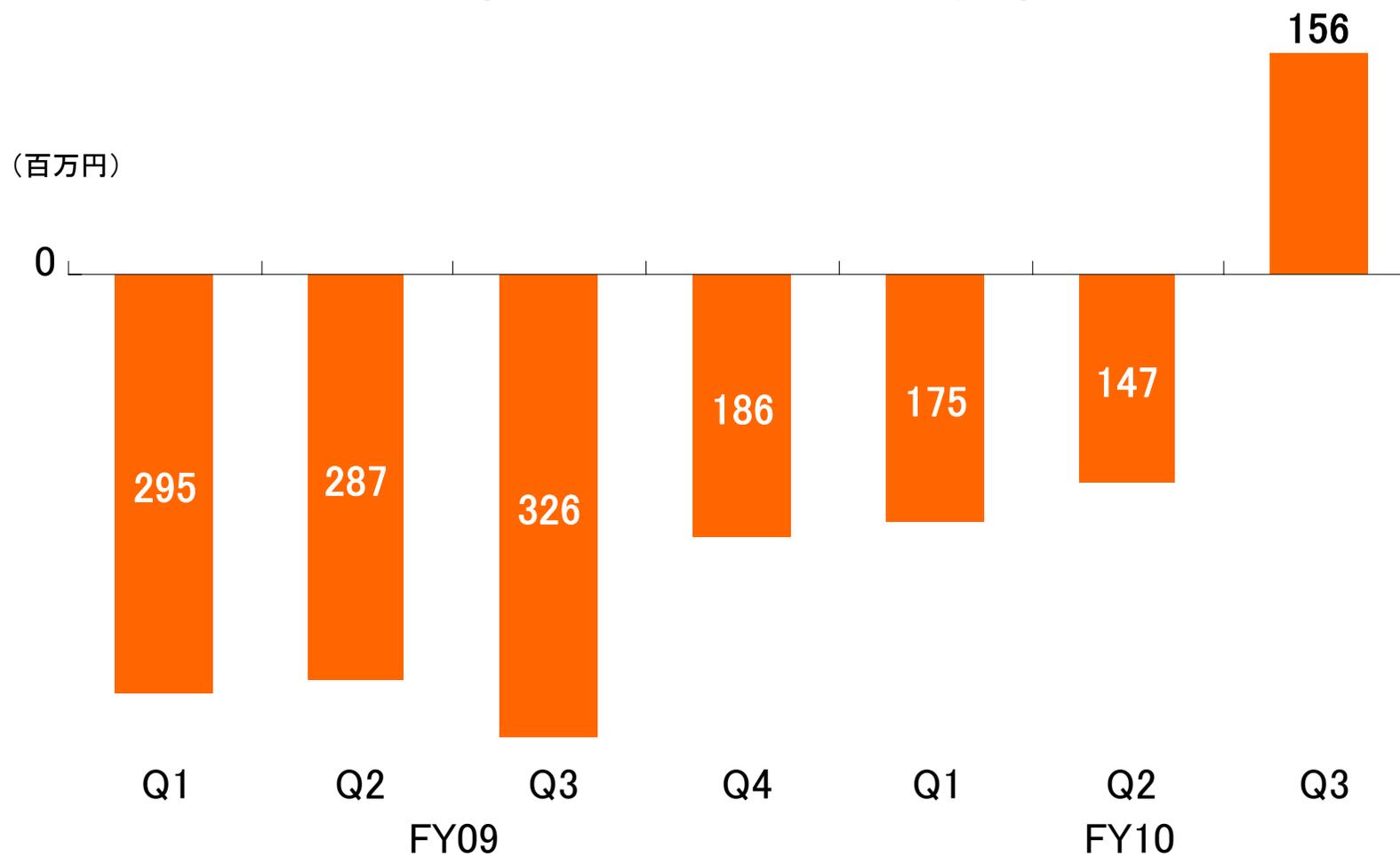
三田 聖二

あれから21ヶ月



黒字転換を達成

連結営業利益の四半期推移

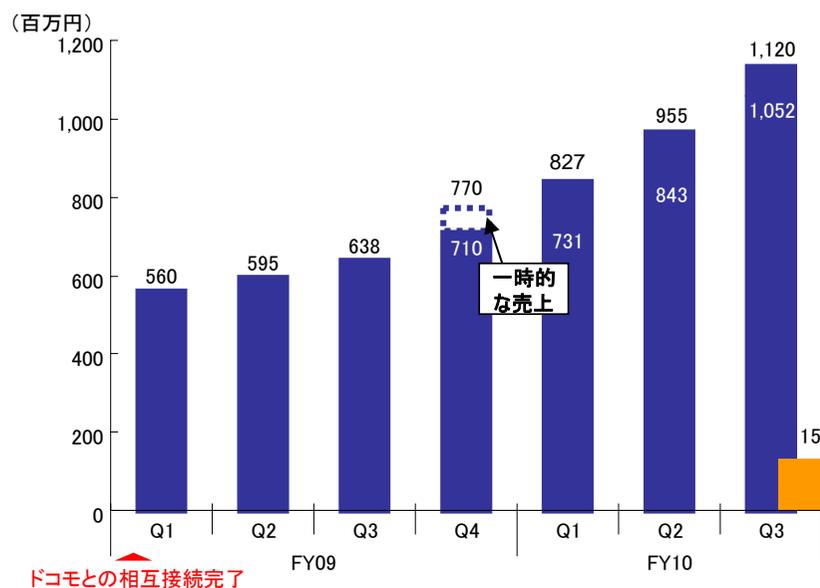


CEOとしての使命

「継続的な急成長」

売上高

利益



三田聖二としての使命

「SIMロック解除」の成功

第3四半期決算の概要

代表取締役専務 CFO

福田 尚久

第3四半期の業績

(単位: 百万円)	Q1	Q2	Q3 (実績)	Q4 (予想)	FY2010 (予想)
売上高	731	843	1,052	1,315	3,941
営業利益	▲175	▲147	156	211	45
経常利益	▲263	▲238	111	204	▲186
当期純利益	▲269	▲351	140	202	▲278

【連結】 損益の概要

単位:百万円	FY09/Q3	FY10/Q3	Y/Y	
	(10-12)	(10-12)		
売上高	638	1,052	413	64.7%
中核事業	480	987	507	105.7%
非中核事業	158	64	-94	-59.4%
差引売上総利益	80	423	343	428.2%
差引売上総利益率	12.6%	40.3%	+ 27.7%	-
販売費及び一般管理費	407	267	-139	-34.2%
販管费率	63.7%	25.5%	- 38.3%	-
営業利益	▲ 326	156	482	-147.7%
営業利益率	-	14.8%	-	-
経常利益	▲ 299	111	411	-137.2%
経常利益率	-	10.6%	-	-
四半期純利益	▲ 300	140	441	-146.9%
四半期純利益率	-	13.4%	-	-

→ 利益率の大幅な改善

→ 販管费率の大幅な低下

→ 為替差損 37百万円

→ 特別利益 35百万円

【連結】 資産・負債の推移

単位:百万円	FY09/Q3 (10-12)	FY10/Q3 (10-12)	Y/Y	FY10/Q2 (7-9)	Q/Q
流動資産	2,027	2,265	238	2,009	255
現金及び現金同等物	1,328	1,146	-181	1,118	27
売掛金	415	823	407	593	229
商品等	222	217	-5	267	-50
その他流動資産	60	78	18	30	48
固定資産	1,240	1,096	-143	1,154	-57
有形固定資産	219	171	-48	187	-16
無形固定資産	965	860	-105	899	-39
投資等	55	64	9	67	-2
資産合計	3,267	3,362	94	3,164	197
流動負債	727	1,281	554	1,271	10
買掛金	165	448	282	332	116
未払金	71	91	19	118	-26
未払利息	44	69	25	62	6
前受収益	5	280	275	211	68
通信サービス繰延利益額	330	197	-132	268	-71
事業再構築引当金	-	15	15	107	-91
その他流動負債	110	177	67	169	8
固定負債	870	846	-23	851	-4
純資産	1,669	1,233	-436	1,042	191
負債純資産合計	3,267	3,362	94	3,164	197

【連結】 キャッシュ・フローの推移

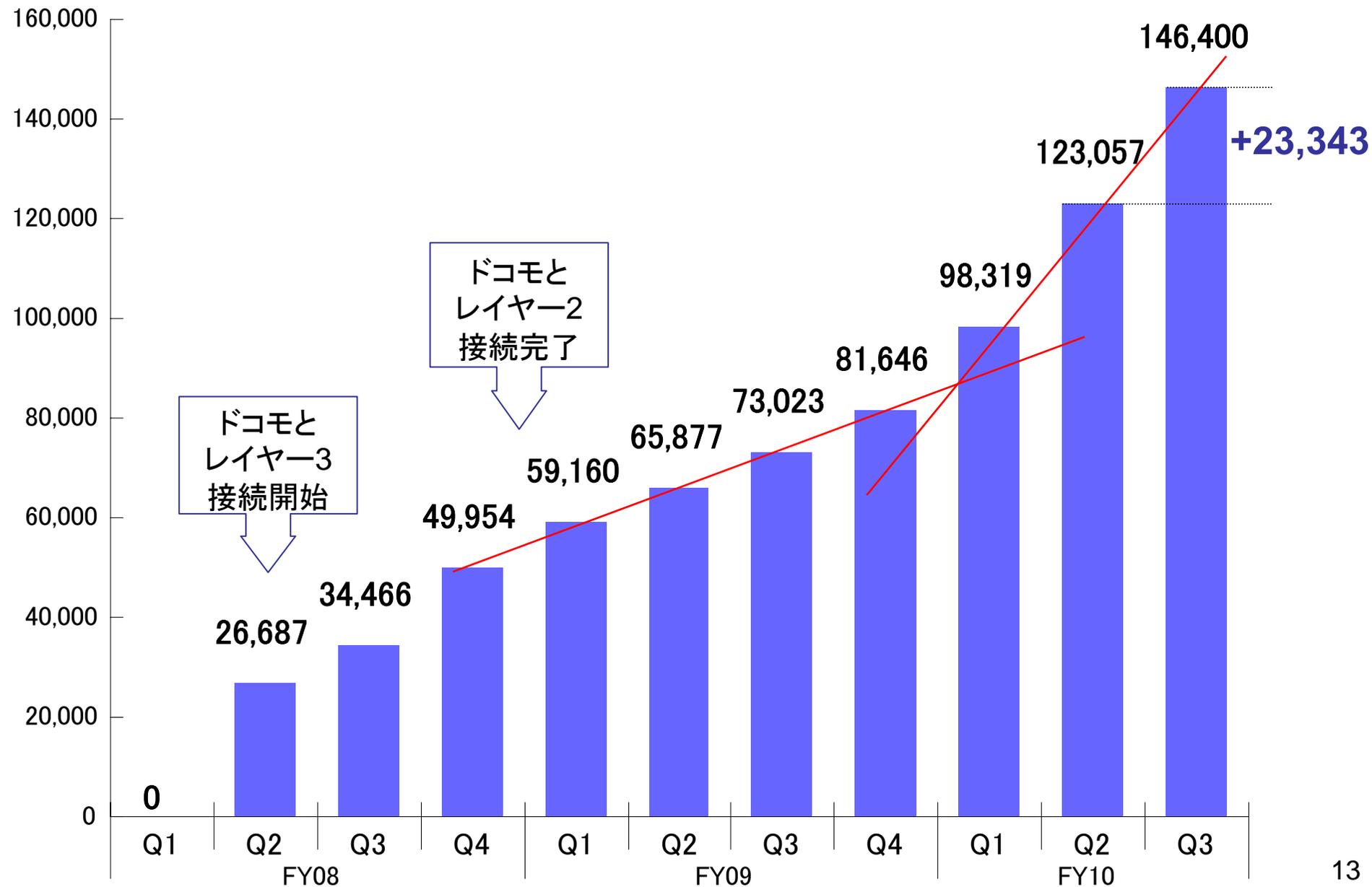
単位:百万円	FY09/Q3 (10-12)	FY10/Q3 (10-12)	Y/Y	FY10/Q2 (7-9)	Q/Q
営業活動による キャッシュ・フロー	▲ 301	38	339	84	-46
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 57	▲ 22	35	▲ 42	20
財務活動による キャッシュ・フロー	5	13	7	▲ 6	19
現金及び現金同等物 に係る換算差額	1	▲ 2	-3	▲ 3	1
現金及び現金同等物 の増減額	▲ 352	27	379	32	-5
現金及び現金同等物 の期首残高	1,280	1,118	-161	1,086	32
現金及び現金同等物 の期末残高	928	1,146	218	1,118	27

→ 端末調達および
売掛金増加の
影響

→ 1,146百万円の
十分な資金

3G回線数の推移

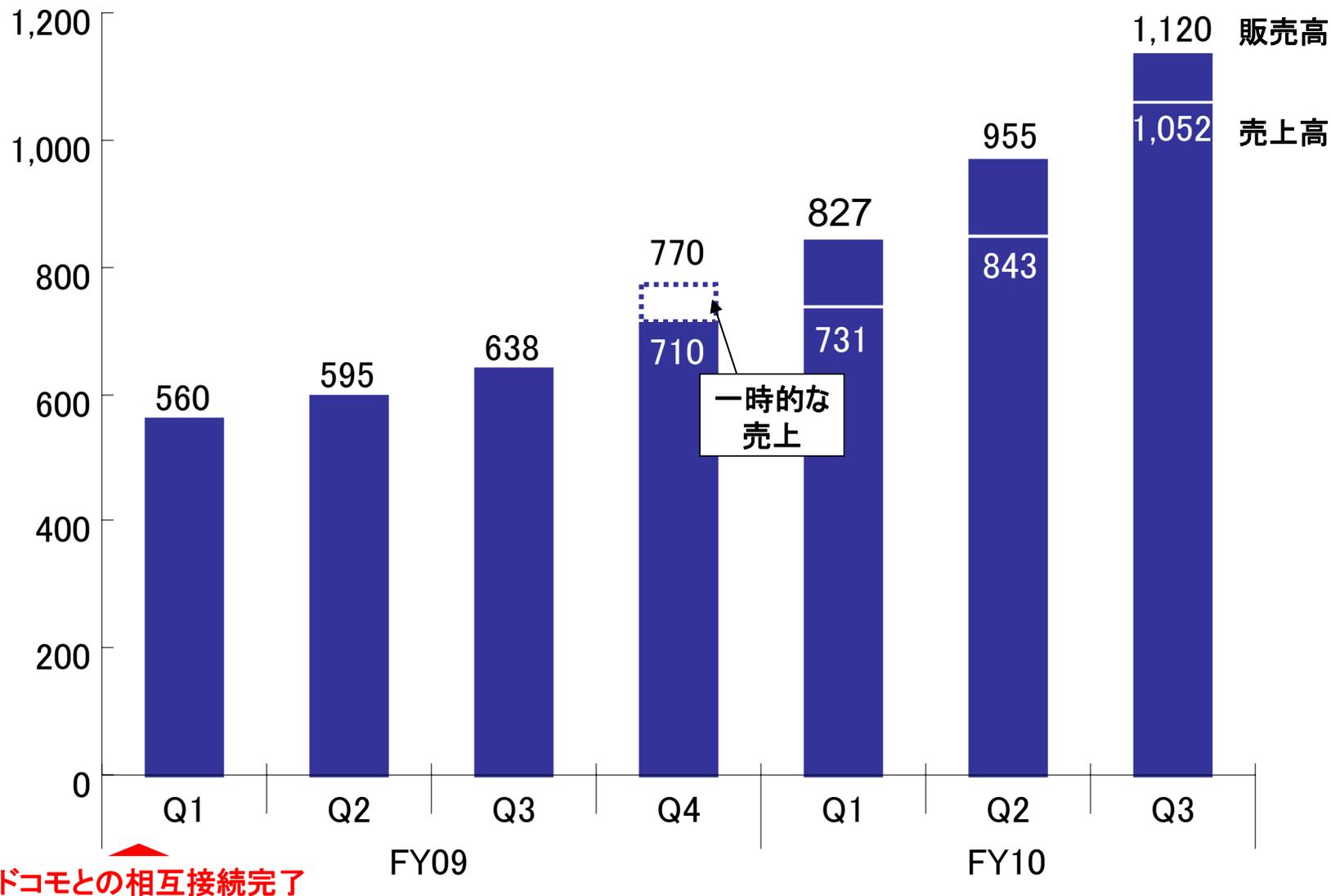
(回線数)



増収

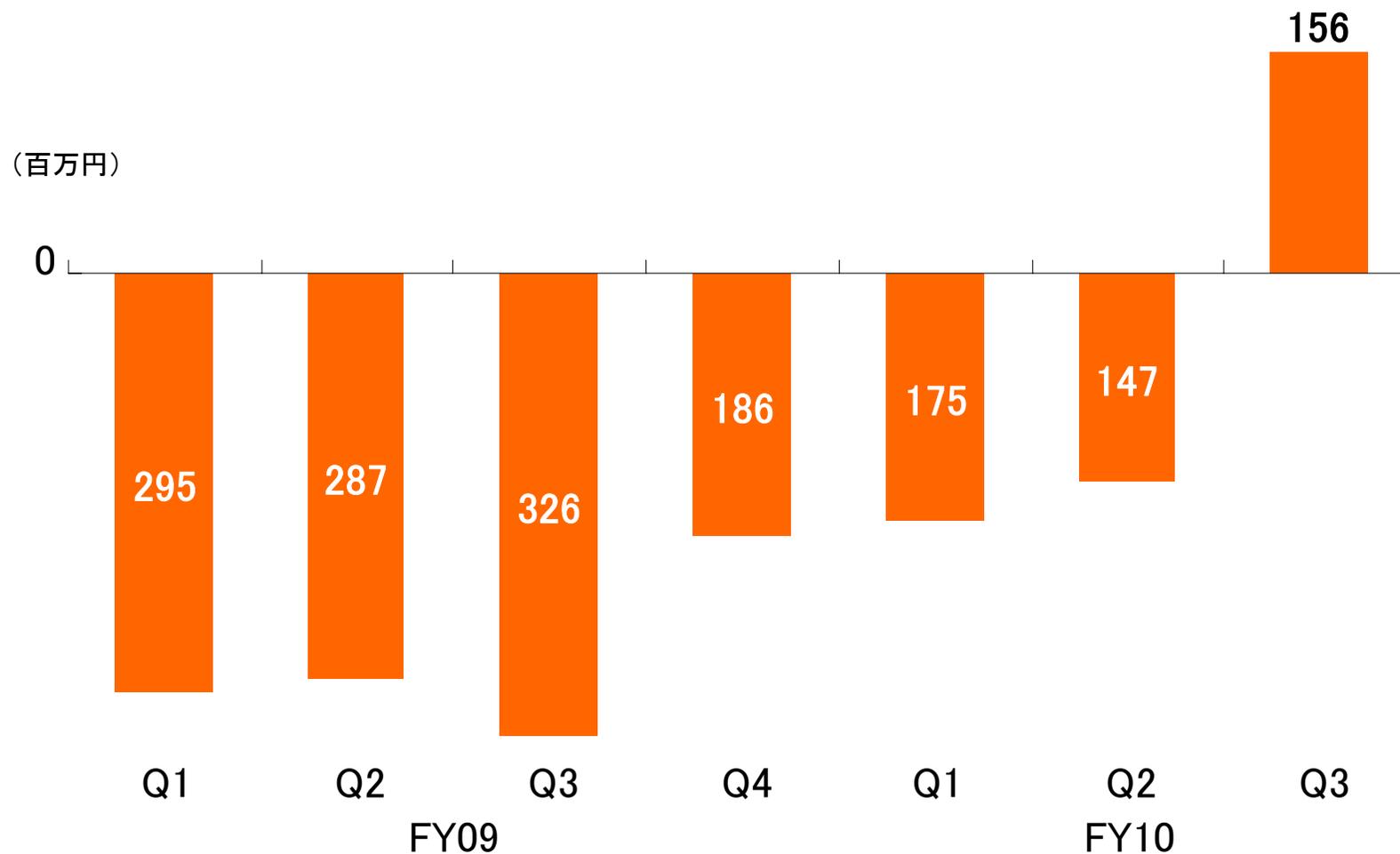
ドコモとの相互接続完了から7四半期連続増収

(百万円)



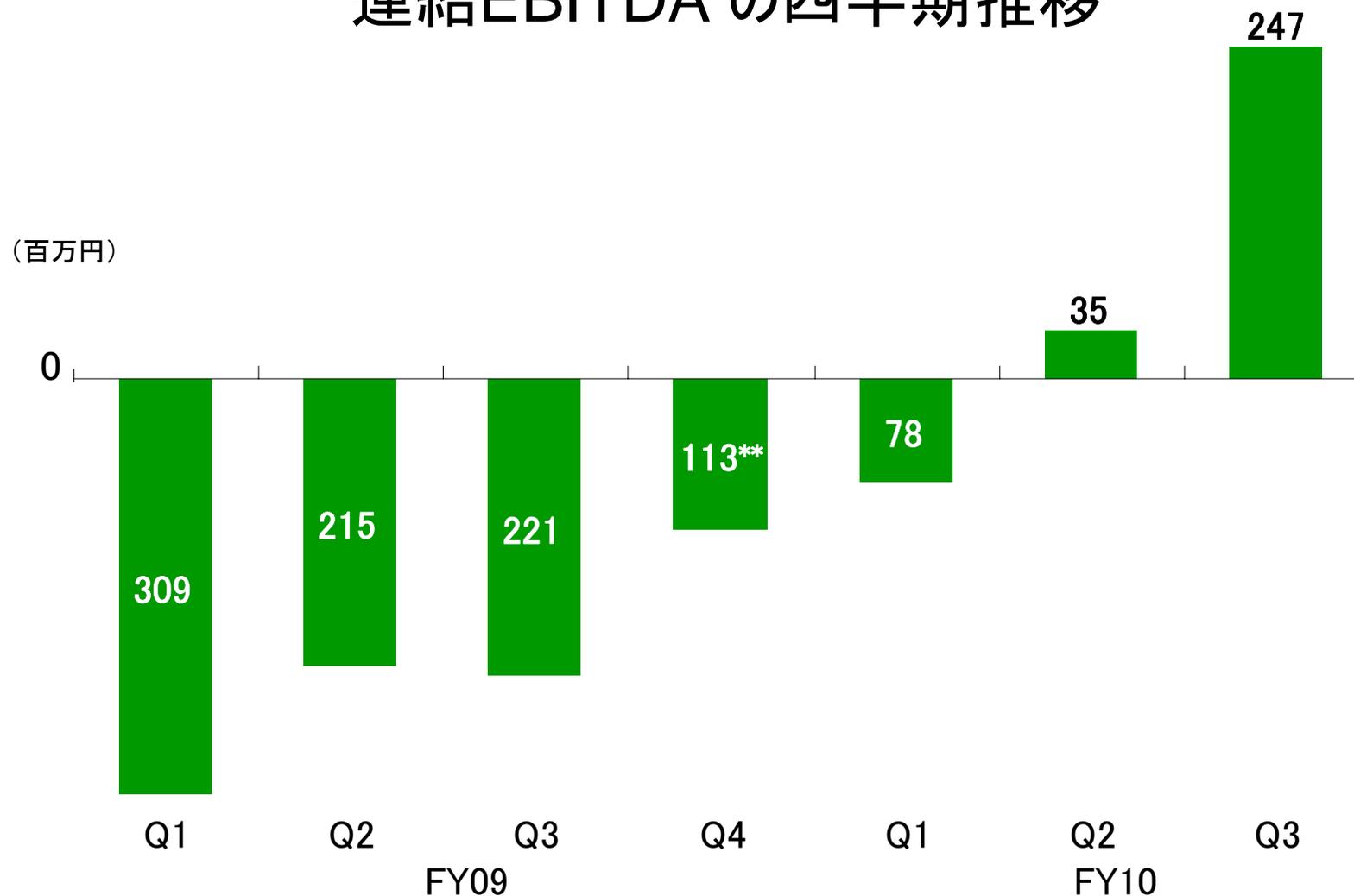
営業利益

連結営業利益の四半期推移



キャッシュベースの営業損益

連結EBITDA*の四半期推移



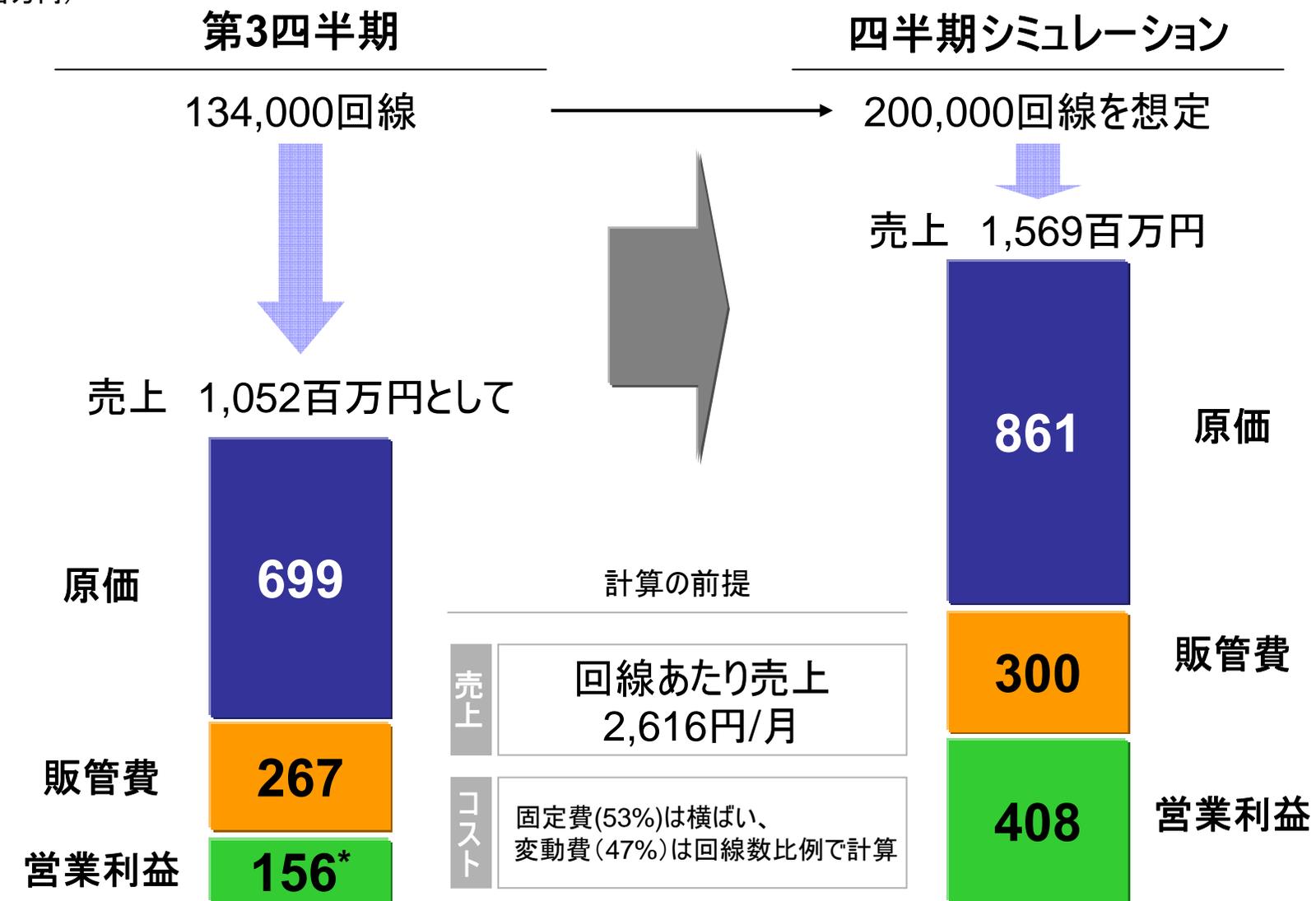
*EBITDA (Earnings Before Interest, Tax, Depreciation and Amortization)

= 販売ベースの売上に基づく利益繰延効果除去後の営業利益 + 減価償却費 + 除去費 + 移動端末機器償却費 + ストックオプション労務費

**政府予算関連プロジェクトおよびドコモ相互接続料金の遡及精算の一時的な効果を除いた金額

日本通信ビジネスモデルの収益性

(単位: 百万円)



*通信サービス繰延利益戻入額を含む

今後の見通し

戦略的方針を決定

製品群A

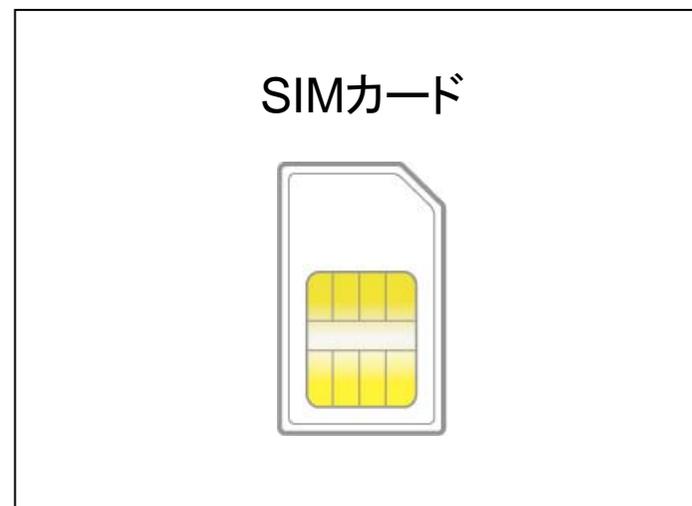


販売 = 売上



短期的に売上・利益に貢献

製品群B



販売 ≠ 売上



期間按分して売上計上

6ヶ月SIMは6ヶ月に按分

見通し

(単位:百万円)	Q1	Q2	Q3	Q4 (予想) 前四半期比	FY2010 (予想)
売上	731	843	1,052	1,315 25%	3,941
営業利益	▲175	▲147	156	211 35%	45
経常利益	▲263	▲238	111	204 84%	▲186
当期純利益	▲269	▲351	140	202 44%	▲278

12/24 スマートフォン “IDEOS” 発売

 日本通信株式会社
Japan Communications Inc.

IDEOS™
with Google™



- SIMロックフリー
- テザリング機能
(WiFiルーター機能)
- 軽さ100g
- 4色のバックカバー

IDEOSパッケージ

b-mobileSIM

IDEOS



26,800円(税込)

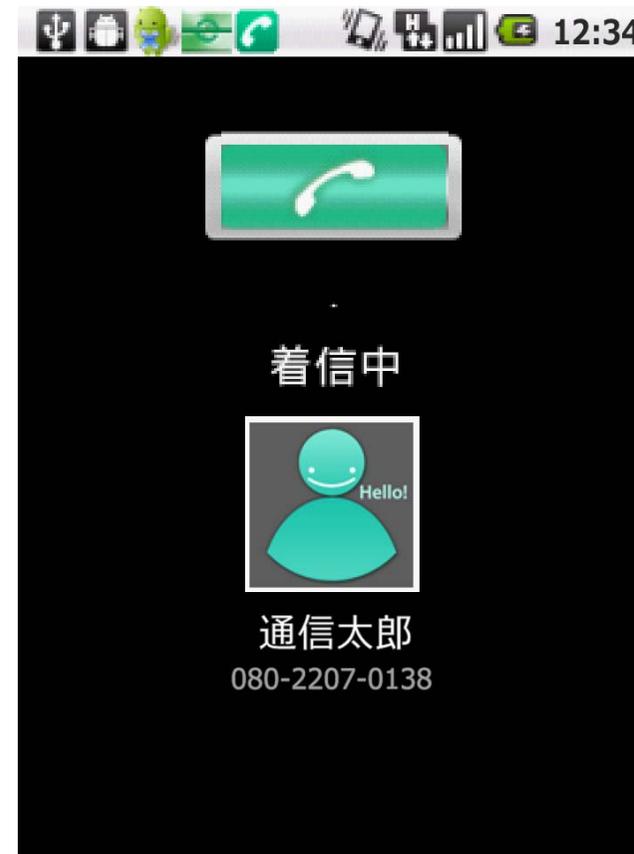
本人確認なし

1/28 モバイルIPフォン発売

発信



着信



電話番号が050番号となるだけの違い

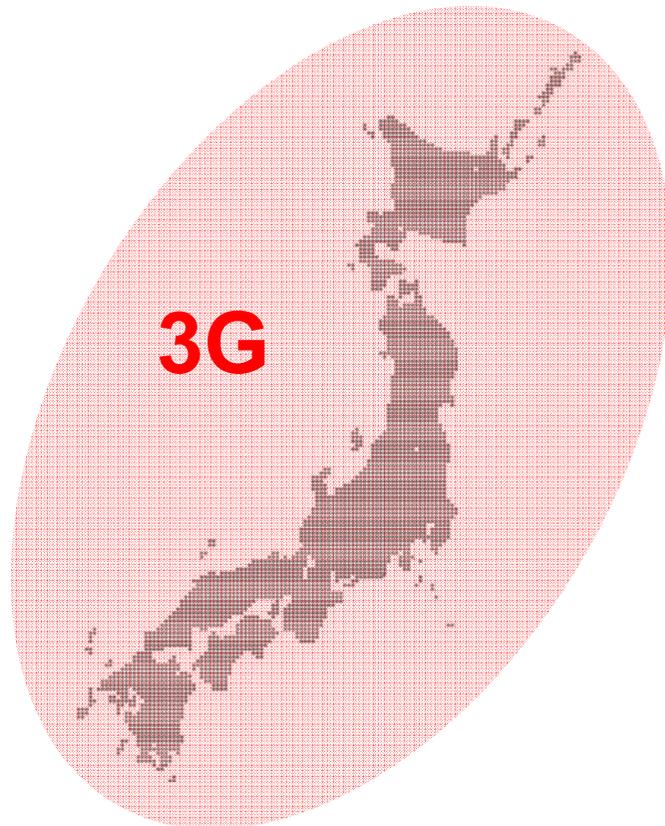
通話料金

	ドコモ	au	ソフトバンク	イーモバイル	日本通信
月額基本料	980円	980円	980円	0円	490円
30秒あたり 通話料	21円	21円	21円	18.9円	10円

基本料には15分間の通話を含む

海外でも

国内

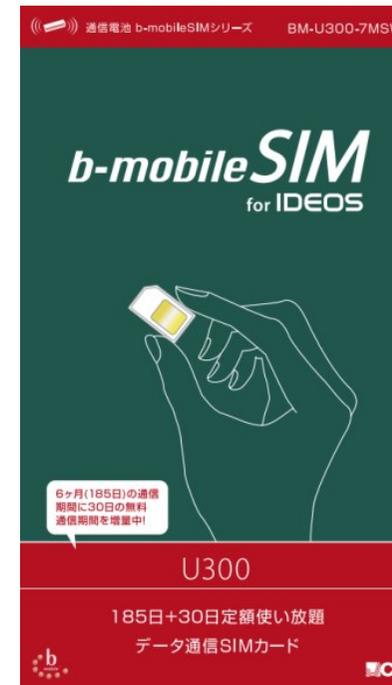


海外



- 使い方は同じ
- 050番号がそのまま使える
- 海外から日本は国内料金

050モバイルIPフォン



軽自動車型スマートフォン

日本通信の差別化戦略

通話

050モバイルIPフォンで差別化

データ通信

ドコモ網活用の独自サービスで差別化

端末

グローバル製品の普及価格帯投入で差別化

Q&A